

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス チル・リブ 西調布ルーム		
○保護者評価実施期間	令和8年 5月13 日		～ 令和8年 5月27 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 名	(回答者数) 16 名
○従業者評価実施期間	令和8年 5月13 日		～ 令和8年 5月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 6月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎利用者(本人)様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの個性に応じた支援</li> <li>・子どもの心と体の状態を把握しての支援</li> <li>・基本的信頼関係の構築に力を入れた支援</li> <li>・運動やアクティブな活動の多く取り入れた支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎利用者(本人)様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童に応じた日々の支援を計画、実行</li> <li>・本人のやりたいに沿った活動を大事にしている</li> <li>・その日の活動課題を毎日のフィードバック会議にて抽出</li> <li>・週に3回ほど事業所の課題を抽出する会議 ケース会議</li> <li>月ごとの遊びのアイデアを出す会議など話し合いの場を設けている</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎利用者(本人)様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察シートの定期的な更新を実施し、より最新な利用者の情報を集約、より良い支援に繋げる</li> <li>・フィードバックした内容を結果ではなくなぜに目を向けられるフォーマットに改善を図り感情に寄り添える支援を目指す</li> <li>・従業員が子どもの特性や理解を行える研修を充実させ、日頃の支援で意識づけができるコミュニケーションを</li> </ul> </li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎保護者様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ツールを十分に活用しての連携</li> <li>・家庭支援が必要な場合、最大限の支援の提供</li> <li>・孤立を徹底して排除し、寄り添った支援を提供</li> <li>・個別相談窓口の強化と十分な提供</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎保護者様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方へのごまめな連携を行う為に手頃な連絡ツールを利用し、すぐに連絡が取れる状態にしている</li> <li>・いつでも連絡を取る仕組みの設定している</li> <li>・保護者の方からの悩みや相談に対して、すぐに返信できる体制に努めている</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎保護者様への対応に関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・新システムの導入を行っているのでより連絡に関する省き、効率化を図っていく</li> <li>・個別に気軽に面談や相談が出来る窓口を設けていく</li> </ul> </li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎スタッフに関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・老若男女のスタッフを確保(男女比率に偏りがなく、年齢層の幅も広い)</li> <li>・スタッフ連携の強化を実施し、スタッフ間コミュニケーションを大切にしている</li> <li>・年齢が子どもと近いスタッフがいたり小学校教諭を目標</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎スタッフに関して <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用は、会社理念に共感でき、偏りのない幅広い人材確保を意識</li> <li>・スタッフ連携を図る為の会議やミーティングを充実</li> <li>・メンタルフォローの面談や相談窓口を設け、スタッフのモチベーションアップを図っている</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ育成を目的にした評価制度を導入しているが、更なる見直しを行いより良い評価制度を構築</li> <li>・スタッフ連携が強化出来る場面を多くするために、スタッフ全員で行える事などを継続して取入れる</li> <li>・統一の支援を図りスタッフ自身を孤立 孤独な感情にしないようにバックアップをしていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対する、情報の展開、周知が十分に出来ていない</li> <li>・事業所として定期的に行っている活動(避難訓練等)が十分に公表できていない</li> <li>・統一の支援が不十分な箇所がまだある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の発達支援の比重を多くしている為、情報発信する工夫を最大限に行えていない</li> <li>・スタッフ間で情報共有のラインが明確になっておらず大事な情報が抜けてしまう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有のラインはなんでも話せるように日頃のコミュニケーションから支援に対して感じたことを共有する。その感情を受け入れるスタッフ側の心の支援として今一度大事なポイントとして強化をする</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流が十分に出来ていない</li> <li>・地域の社会資源をまだまだ活用できていない</li> <li>・地域活動に参加できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との接点を持つ検討時間の確保が出来ていない</li> <li>・事業所としても、地域の交流を課題として大きく取り上げていない</li> <li>・事業所として、地域にどのような社会資源があるか把握する情報収集を行えていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の支援から街の人の挨拶 掃除活動やまず地域に必要な活気が出る活動を事業所として行っていく。また関わりができそうな地域の方のお店との交流の提案をしてみたり自発的な行動を行なっていく</li> </ul>
3			